



# 棟近研究室の紹介 質の向上を通じて社会に貢献する

早稲田大学理工学術院

創造理工学部 経営システム工学科

棟近 雅彦

2017年7月



# 1.研究室の構成人員， 場所

## □ 構成人数（2017年7月現在）

- 教授 1名（＋秘書2名）
- 学生 23名
- M2：7名， M1：5名
- B4：11名

## □ 研究室

- 51号館14階 14-10B室
- 51号館14階 14-12室



## 2.研究について

### 品質マネジメントに関するシステム，技法，手法の開発

#### (1) 製品の質

- ・ 新製品開発
- ・ 要求品質工学
- ・ 感性品質

#### (2) 医療の質

- ・ 医療の質マネジメントシステム，医療事故の防止，医療のTQM
- ・ 医療における地域災害レジリエンスマネジメントシステム，災害医療

#### (3) 組織の質

- ・ 経営戦略立案
- ・ 自己評価
- ・ 経営データ分析
- ・ マーケティング



## 2.研究について

### □ 方法

- 頭と体, あらゆる学問, 統計的方法, 分類(言語データの処理), PC

### □ ゼミ

- 基本的に毎週2回(今年度は火曜日と水曜日)行う.  
また, 数理統計, 感性品質, 医療等の勉強会, 自主ゼミを学生主体で行う.

### □ 研究内容の応用分野

- ほとんどすべての工業部門およびサービス部門, 病院, 製薬

### □ 外部組織との共同研究

- 9割以上の学生が企業, 病院などの外部組織と共同研究を行っている



## 2.研究について

### □ 研究に必要な知識

- 1) 少なくとも複合領域科目で習ったことをよく理解していること
- 2) 統計解析法, 品質マネジメント, 実験計画法, 情報システム開発演習等の講義の内容を理解していること
- 3) どうせ1), 2) はよくわかっていないと思うので, これからのやる気を持っていること

### □ 研究を通じて身につけてもらいたいと思っている能力

- 問題発見・解決能力, 文章および口頭で自分の言いたいことを伝える能力, 時間をかけて考えることができる能力



## 2.研究について(共同研究)

2  
0  
1  
0

2  
0  
1  
1

2  
0  
1  
2

2  
0  
1  
3

2  
0  
1  
4

2  
0  
1  
5

2  
0  
1  
6

現在

臨床統計班

要求品質工学班

感性班(アサヒビール・ぺんてる・キッコーマン・NTT・ブラザー・HGS)

知識構造化班

まつかま班

まつかま班

医療班

ADRMS-H班

経営分析班

丸井  
班

パラマウントベッド  
第一三共  
クラリオン



# ADRMS-Hモデルの開発：詳細はHPで





### 3.当研究室で卒業研究を行う学生に対する希望

- ①自主性を持った，他力本願でないいつもの学生．現在は無理でも将来そうになりたい学生
- ②何をしたいかわからない学生
- ③時間と約束を守る学生
- ④聴く耳を持った人間になりたい学生
- ⑤物事をじっくり深く考える根性のある学生
- ⑥研究所でなく，現場へ飛び込んで泥まみれになってやりたい学生
- ⑦指導者になりたい学生
- ⑧新製品開発，新技術開発をやりたい学生
- ⑨できれば修士コースへ行きたい学生
- ⑩スポーツの好きな学生
- ⑪あまり自分本位でない学生





## 4.その他

### □ 2017年度の行事予定

- 新入生歓迎旅行&ゼミ合宿(4月実施)
  - ・ セミナーハウス
- 夏合宿(9/中旬)
  - ・ セミナーハウス
- ボーリング大会&打ち上げ飲み会(8, 12月)
- OB・OG会(11月3日)
- 3年ゼミは, 秋学期水曜3限の予定

### □ 委員会活動

- 研究室の活性化のために, 学生の自主的な委員会活動を行っている
  - ・ ネットワーク, HP, 環境・5S, 会計, 内部監査, 研究データ蓄積, マニュアル, OB会



## 4.その他

### □ ゼミまたは研究室の見学

- ゼミは自由に見学できる
  - ・ 資料の準備の都合上，あらかじめメールで見学希望日時を連絡してください (munechika@waseda.jp)
- 研究室は，在室者がいれば自由に見学可能
  - ・ 見学希望日時をメールしてください

### □ 過去の研究テーマ

- 卒論・修論の題目名，修論要旨のPDFファイルを棟近研HPに掲示するので参考にされたい



# 参考資料：2016年度の卒論・修論のテーマ

|      | テーマ                                  |
|------|--------------------------------------|
| 卒業論文 | カラオケの感性品質の向上に関する研究                   |
|      | 工場稼働初期段階における衛生管理導入推進に関する研究           |
|      | 複数機能を考慮した看護業務支援製品導入効果の評価方法に関する研究     |
|      | 病院における事業影響度分析の実施方法に関する研究             |
|      | 褥瘡ケアの質管理に関する研究                       |
|      | 病院における災害対策本部演習の評価方法に関する研究            |
|      | カーナビゲーションシステムにおける感性品質の評価軸に関する研究      |
|      | 看護安全ハンドブックの改訂指針に関する研究                |
| 修士論文 | 監査証跡データに基づくサンプリングSDVに関する研究           |
|      | アラーム教育における教育効果測定方法に関する研究             |
|      | 病院の手順書に着目した事業継続マネジメントシステムの内部監査に関する研究 |
|      | 医療における地域災害レジリエンスの評価に関する研究            |
|      | 工場におけるコンセプトの実現方法に関する研究               |
|      | ブランドアイデンティティの伝達方法に関する研究              |
|      | 看護師の勤務当日スケジュールの作成方法とその評価方法に関する研究     |
|      | 商品コンセプトの印象を反映したパッケージデザインの設計方法        |
|      | 治験の監査証跡データにおける修正データの自動抽出に関する研究       |



# 参考資料：進路

| 年度   | 学士                                                                                      | 修士                                                                                                | 博士   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 2014 | 大学院9名<br><br>ヤフー(株),<br>(株)三菱東京UFJ銀行                                                    | (株)平和, (株)ニコン, 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株),<br><br>ソニー(株), (株)野村総合研究所,<br>日本電気(株),<br><br>(株)日立ソリューションズ | 早大助教 |
| 2015 | 大学院6名<br><br>凸版印刷(株), 富士通(株)<br>日本生命保険相互会社                                              | (株)日立製作所, 富士フィルム(株)<br>新日鉄住金ソリューションズ(株),<br>日本電気(株), ソニー(株),<br><br>パナソニックシステムネットワーク(株)           |      |
| 2016 | 大学院5名(内, 外部から4名)<br><br>ソフトバンク(株), (株)日立製作所, (株)三井住友銀行, (株)三菱東京UFJ銀行, (株)NTTデータ, 富士通(株) | ソニー(株), ネスレ日本(株), 大和証券(株), カゴメ(株), エーザイ(株), オリンパス(株), アクセンチュア(株), YKKAP(株)                        |      |